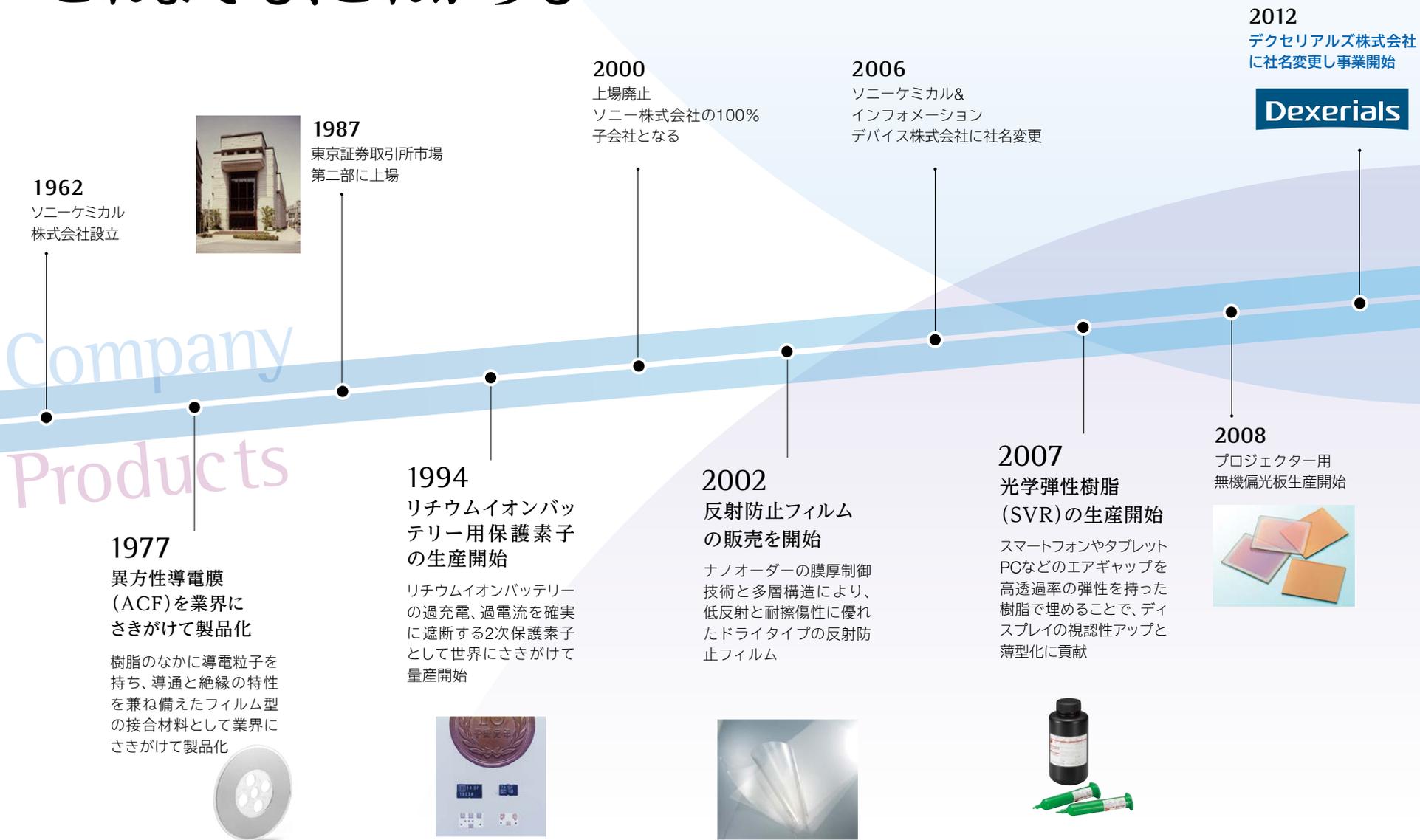
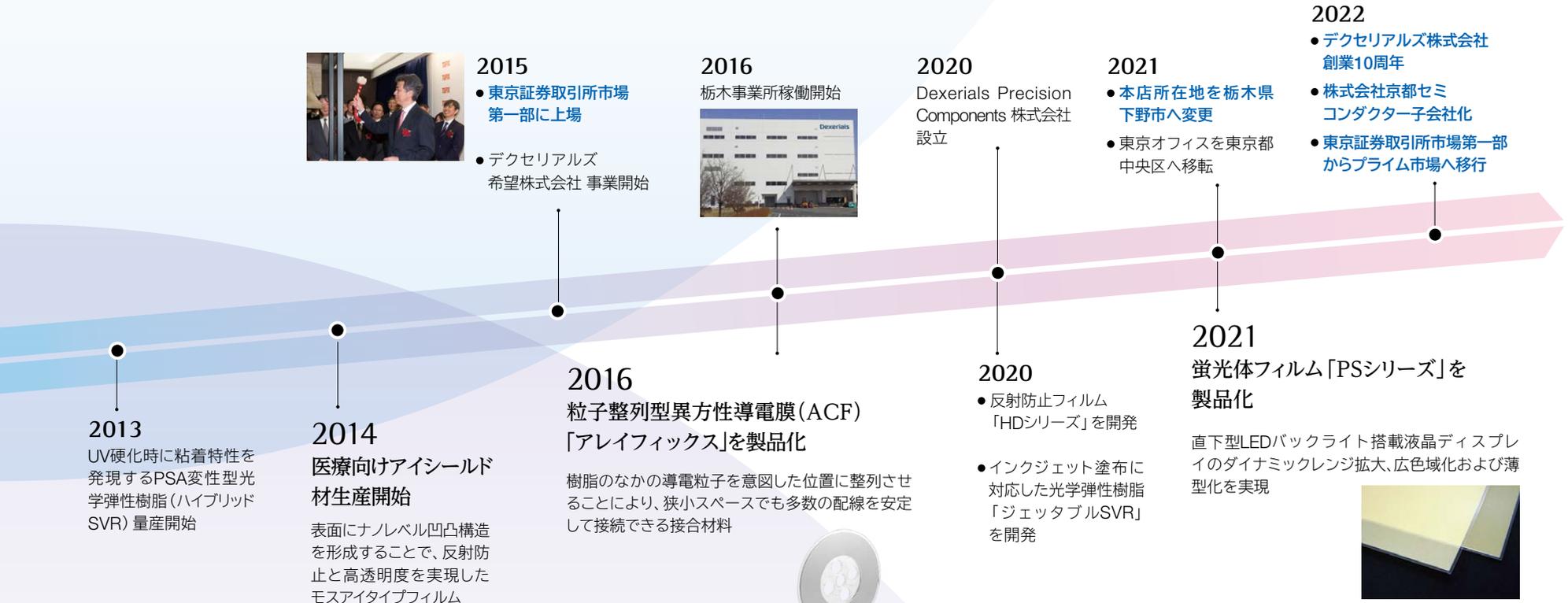


# 社会の進化を支える価値創造企業として これまでも、これからも



当社は1962年の前身としての創業以来、機能性材料の開発・製造・販売を通じてコンシューマーエレクトロニクス製品の進化を支えてきました。デクセリアルズとして10周年を迎え、私たちは創業の精神に立ち返り、「今までなかった発想で」社会課題の解決につながる価値創造に挑戦し続けます。



### Topics

#### 2022年なかだ事業所が50周年を迎えました

Dexerials Precision Components(株)と(株)OSDC<sup>※</sup>がマイクロデバイス(無機光学および無機材料)事業を営むなかだ事業所は、2022年で創業50周年を迎えました。創業当初はソニーグループ下での磁気ヘッドの製造から始まり、今日まで数多くの技術を継承し、発展させてきました。2021年の機構改革による現体制への分社化以降は、自立と連携による持続的成長、進化への挑戦を中期的な方針に掲げ、事業体質の強化を着実に図ってきました。これからも高度化・多様化が進むレーザー、センサー、投影機器に対し微細加工技術とデバイス力でさらなる成長機会を見出し、新たな価値の創造を通じて企業価値の向上を目指してまいります。

※デクセリアルズと(株)アウトソーシングの合併会社として、マイクロデバイス製品の製造を手掛ける



# ハイライト



世界シェア  
**No. 1**



異方性導電膜 (ACF) ※1



光学弾性樹脂 (SVR) ※2



スパッタリング技術で  
製造された反射防止フィルム ※3



売上高

**95,712** 百万円

対前年度比 **+45.4%**



営業利益

**26,642** 百万円

対前年度比 **+135.0%**



親会社株主に帰属する当期純利益

**16,669** 百万円

対前年度比 **+212.8%**



ROE

**28.5%**

対前年度比 **+18.1%pt**



総還元性向 (のれん償却前)

**42.3%**

社内取締役 3名 社外取締役 4名



社外取締役比率

**57.1%**

中途採用比率



**44.6%**

新卒3年後定着率



**88.0%**



エンジニア数

**580** 人

連結従業員数に対する割合 **38.0%**

※1 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの2021年の金額シェア。  
 ※2 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学用透明接着剤(OCR)の2021年の金額シェア。光学弾性樹脂(SVR)は、光学用透明接着剤の当社製品名です。  
 ※3 株式会社富士キメラ総研発行「2022ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム(ドライコート)の2021年の金額シェア。

# 事業ポートフォリオ

(注) 各事業は業績開示におけるセグメントに該当し、売上高にはセグメント間取引が含まれています。



当事業は光学フィルム、光学樹脂材料、光学ソリューションの3カテゴリーに分けられています。これら3カテゴリーには反射防止フィルム、光学弾性樹脂、精密接合用樹脂等が含まれており、特に主力製品である反射防止フィルムは高い技術、品質により世界市場で高いシェアを有しています。



## 反射防止フィルム

ナノオーダーの膜厚制御技術と多層構造により、低反射と耐擦傷性に優れたドライタイプの反射防止フィルムは、モバイル機器やセンターインフォメーションディスプレイなどの車載ディスプレイの視認性向上に貢献します。また、当社の微細加工技術を活かし、低反射・高透過に優れたモスアイフィルムは自動車ヘッドアップディスプレイ向けや医療用アイシールド材にも使用されています。



## 光学弾性樹脂(SVR)

スマートフォン、タブレットPCなどのエアギャップを高透過率の弾性を持った樹脂で埋めることで、視認性アップと薄型化を実現します。また、UV硬化時に粘着特性を発現し、作業性に優れた「ハイブリッドSVR」を中・小型FPD向けにラインアップしています。



## 蛍光体フィルム

緑色と赤色の蛍光体をフィルム状にした「PSシリーズ」は、ディスプレイ内部に組み込むことで白色LEDに変わって発光のばらつきが少ない青色LEDを光源に使用することができ、直下型LEDバックライトに比べ、高品質のディスプレイの製造を可能にします。



## 紫外線硬化型/熱硬化型接着剤

精密接合用樹脂SAシリーズとして、紫外線硬化、熱硬化、紫外線+熱硬化の接着剤をラインアップ。低温、短時間硬化や低収縮率を実現し、カメラモジュールや光ピックアップなどの組み立て時の精密固定に適しています。



当事業は接合関連材料、異方性導電膜、表面実装型ヒューズ、マイクロデバイスの4カテゴリーに分けられています。特に主力製品である異方性導電膜(ACF)は1977年に業界でさきがけて開発・量産化しており、高い技術、品質で世界市場において高いシェアを有しています。



## 異方性導電膜(ACF)

樹脂のなかに導電粒子を持ち、導通と絶縁の特性を兼ね備えたフィルム型の接合材料です。ディスプレイパネルやカメラモジュールなどの基板の接続に使われています。また、狭小スペースでの実装が可能な粒子整列型ACFや、基板の形状や端子レイアウトに合わせた形状加工ACFもラインアップしています。



## 熱伝導シート

CPUなどのICチップから発生する熱をすばやくヒートシンクに伝え、デバイス性能を守ります。高い熱伝導率と柔軟性を兼ね備えた高性能タイプ、高性能・絶縁タイプ、標準タイプをラインアップしています。



## 表面実装型ヒューズ

リチウムイオンバッテリーの過充電、過電流を確実に遮断する2次保護素子のセルフコントロールプロテクター(SCP)に加え、小型・薄型でありながら、過電流から電子機器を守る大電流対応のヒューズ、パワーカレントプロテクター(PCP)をラインアップしています。



## 無機偏光板・無機波長板

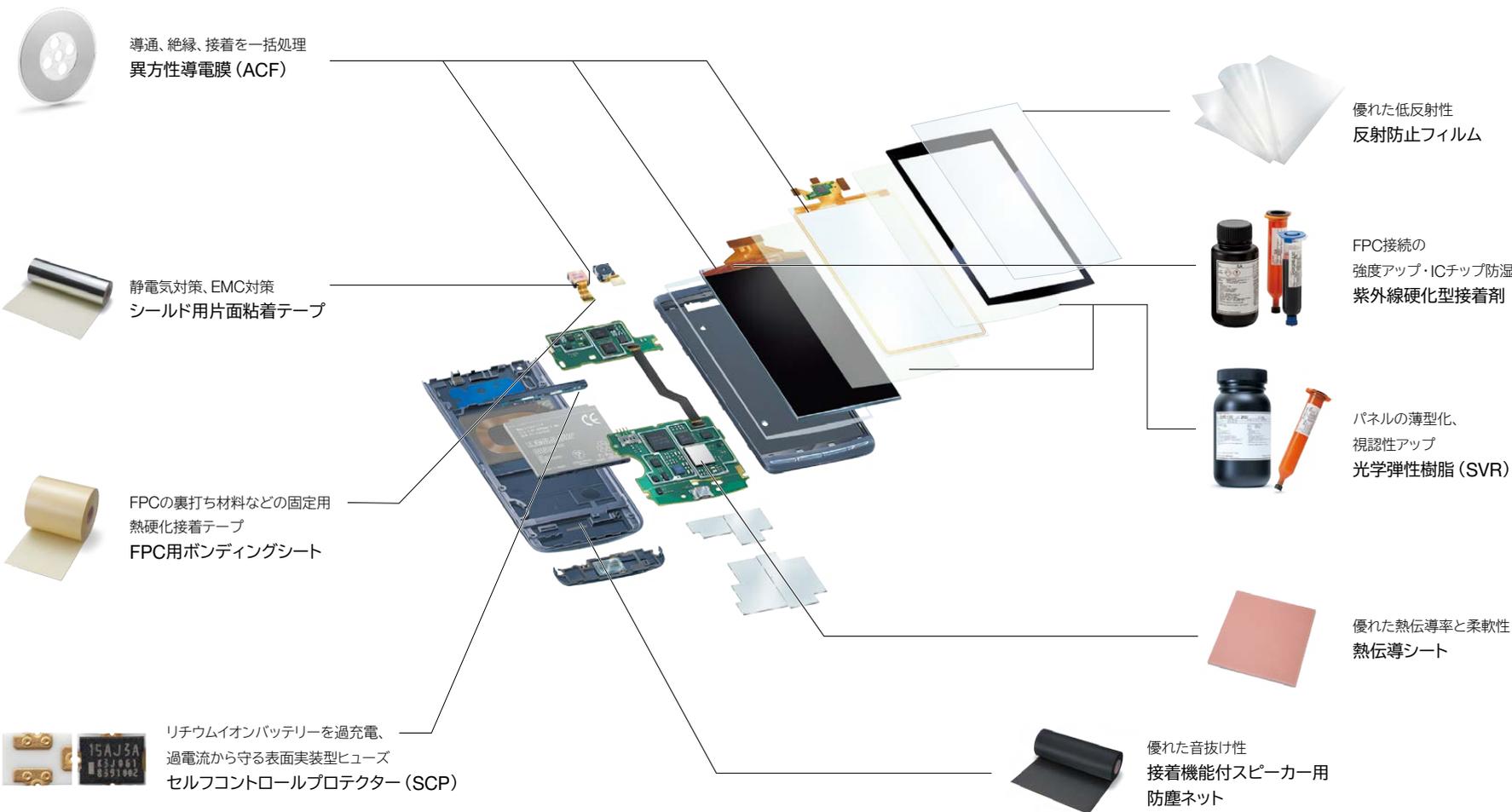
高温かつ高光量の環境下での長時間使用に耐える高い耐久性を持ち、ナノレベルの加工技術と独自の薄膜微細構造により、高い透過率と低反射率を実現した光学デバイスです。プロジェクターやレーザー光源を使用した光学ユニットの輝度向上や高コントラスト化に貢献します。

# デクセリアルズの製品はこんなところで使われています



たとえば **スマートフォン**

ますます薄型化、高性能化が進むスマートフォン。  
限られたスペースに数多くの基板、部品を実装するために、  
デクセリアルズの機能性材料が使われています。



※製品の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.dexerials.jp/products/> →



たとえば

## 自動車

高い視認性や快適な画面操作、インテリジェント化の進む自動車分野でも、デクセリアルズの機能性材料が使われています。

### 車載ディスプレイ



導通、絶縁、接着を一括処理  
異方性導電膜 (ACF)



優れた低反射性  
反射防止フィルム



パネルの薄型化、視認性アップ  
光学弾性樹脂 (SVR)



液晶ディスプレイの画質を向上  
蛍光体フィルム



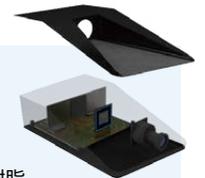
### 車載カメラ



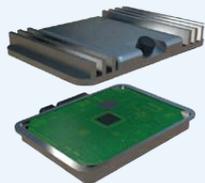
レンズなどの  
精密部品固定  
精密接合用樹脂



優れた熱伝導率と柔軟性  
熱伝導シート

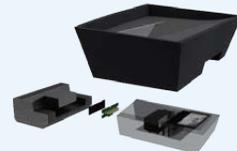


### モーターインバーター



優れた熱伝導率と柔軟性  
熱伝導シート

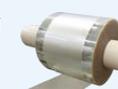
### ヘッドアップディスプレイ



低反射性と高い透明性  
反射防止フィルム  
モスアイタイプ



高い耐熱性・耐  
光性・耐久性  
無機波長板



映像の輝度向上、表示ムラ低減  
拡散マイクロレンズアレイ

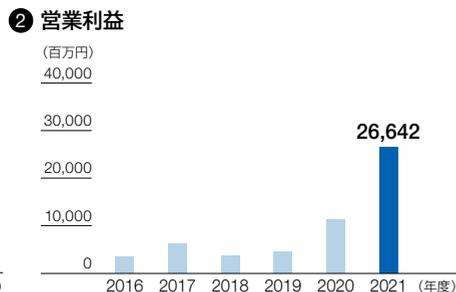
### 車載電子機器用の バッテリー



リチウムイオンバッテリーを過充電、  
過電流から守る表面実装型ヒューズ  
セルフコントロールプロテクター (SCP)

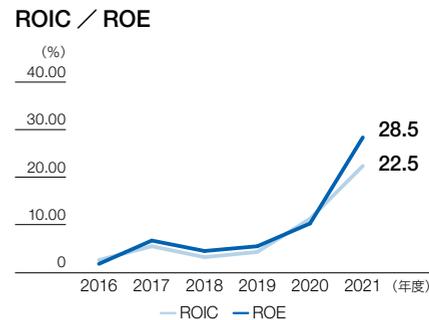
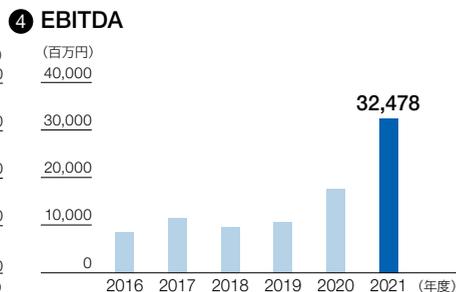
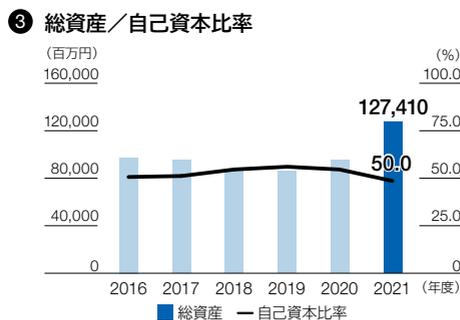


連結業績指標		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	(百万円)	62,598	70,079	60,580	57,710	65,830	<b>95,712</b>
営業利益	(百万円)	3,491	6,178	3,724	4,617	11,339	<b>26,642</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	949	3,426	2,284	2,734	5,329	<b>16,669</b>
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	15.85	56.91	37.73	45.05	87.60	<b>274.61</b>
総資産	(百万円)	97,347	94,958	87,586	86,279	95,201	<b>127,410</b>
自己資本比率	(%)	52.1	52.6	56.0	57.5	56.0	<b>50.0</b>
EBITDA	(百万円)	8,543	11,561	9,680	10,786	17,590	<b>32,478</b>
ROIC	(%)	2.7	5.6	3.3	4.4	11.4	<b>22.5</b>
ROE	(%)	1.9	6.8	4.6	5.6	10.4	<b>28.5</b>



※詳細は当社ウェブサイトの有価証券報告書をご覧ください。

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/4980/yuho\\_pdf/S10009Q6/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/4980/yuho_pdf/S10009Q6/00.pdf)

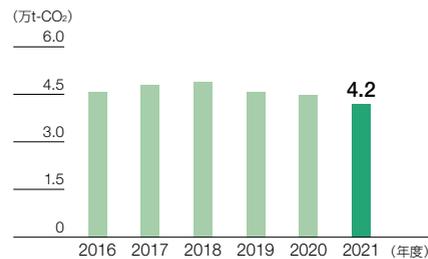


## 財務ポイント解説

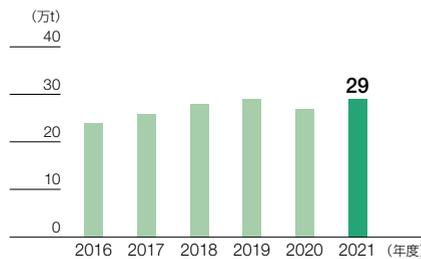
- 技術トレンドを先回りした製品の開発・提案
- に取り組んだ結果、反射防止フィルムおよび異方性導電膜 (ACF)、精密接合用樹脂、表面実装型ヒューズなどの高付加価値製品の販売が拡大したことに加え、今期から本格的に貢献が始まった新製品の蛍光体フィルムが寄与したことなどにより増収増益となり、当社の稼ぐ力を示す指標であるEBITDAも大幅に増加しました。
- 株式会社京都セミコンダクターの子会社化に伴う有利子負債の増加はありましたが、自己資本比率は50.0%と健全な財務体質を維持しています。

非財務指標		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> 排出量	(万t-CO <sub>2</sub> )	4.6	4.8	4.9	4.6	4.5	4.2
水使用量	(万t)	24	26	28	29	27	29
廃棄物排出量	(万t)	0.21	0.24	0.29	0.26	0.25	0.29
VOC排出量	(t)	55	42	46	37	36	34
従業員数(連結)	(人)	2,124	1,981	2,005	1,999	1,772	1,915
(単体)	(人)	1,600	1,585	1,603	1,604	1,313	1,342
役員構成(総数/うち社外/うち女性)	(人)	10/7/2	10/7/2	10/7/2	10/6/1	9/6/1	7/4/1
障がい者雇用率	(%)	3.28	3.38	3.40	3.40	3.37	3.30
有給休暇平均取得率	(%)	62.4	61.8	67.2	68.4	60.0	58.9
有給休暇取得平均日数	(日)	14.4	14.2	15.3	15.7	13.7	12.8

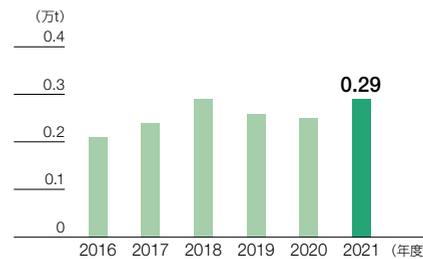
① CO<sub>2</sub>排出量



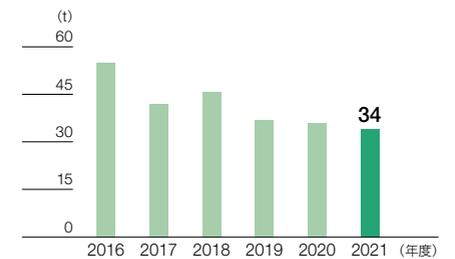
① 水使用量



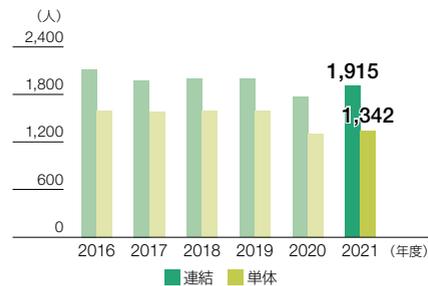
① 廃棄物排出量



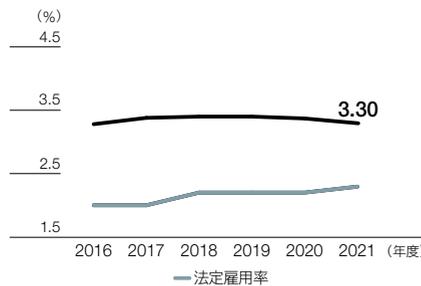
VOC排出量



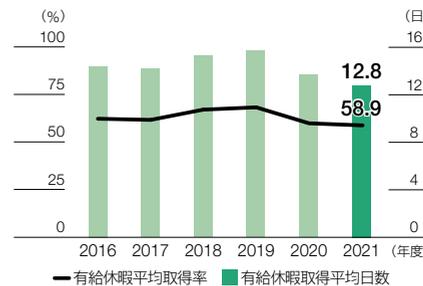
② 従業員数(連結/単体)



障がい者雇用率



有給休暇平均取得率/有給休暇取得平均日数



非財務ポイント解説

- CO<sub>2</sub>排出量は、全社省エネ活動推進(旧設備・装置の更新やライン設計効率化など)の効果もあり前年実績を下回りました。一方、水使用量(季節的要因による冷却系使用が増加)と廃棄物排出量(各事業の生産増加)は前年実績を上回りました。  
[環境負荷低減に向けた取り組みの詳細は40~43ページをご覧ください。](#)
- 従業員数(連結)は2021年度に株式会社京都セミコンダクターの子会社化に伴い増加しました。

# お客さまとともに未来を創造する

経営理念

**Integrity**

誠心誠意・真摯であれ

企業ビジョン

**Value Matters**

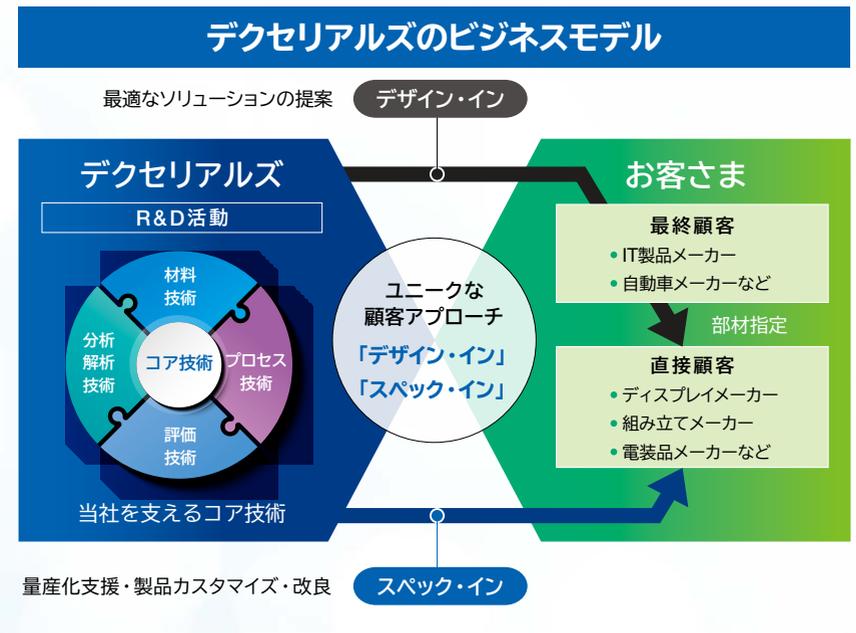
今までなかったものを。世界の価値になるものを。

## 社会環境の変化

- AIの発達
- 高速通信の普及
- 自動運転技術の発達
- IoT社会の到来
- 気候変動
- 新しい生活様式

投下資本	
<b>財務資本</b>	
株主資本	60,629百万円
<b>製造資本</b>	
設備投資額	5,250百万円
製造拠点 国内 4拠点 海外 2拠点	
さまざまな分野のエンジニアが集結したテクノロジーセンター「本社・栃木事業所」	
<b>人的資本</b>	
従業員数	1,915名
エンジニア数	580名
新入社員に占める技術系社員の割合	100%
<b>知的資本</b>	
研究開発費	3,876百万円
海外特許保有比率	65.6%
<b>社会・関係資本</b>	
独自の技術、高い品質に基づくお客さまとの信頼関係	
グリーンパートナー480社との関係	
<b>自然資本</b>	
電力	70,944千kwh
水	31万t

- ### 中長期的に取り組む4つの重要課題（マテリアリティ）
- 1 新しい価値の創造・社会課題の解決
  - 2 ガバナンス・コンプライアンスの強化
  - 3 多様な人財とエンゲージメント醸成
  - 4 操業安全と事業継続性の確保



- ### デクセリアルズの経営戦略 中期経営計画2023「進化への挑戦」
- 〈3つの基本方針〉
- 新規領域での事業成長加速
  - 既存領域における事業の質的転換
  - 経営基盤の強化

### 社会への還元・価値提供

独自の技術に裏打ちされた製品・サービスにより社会課題を解決し豊かな社会の実現に貢献

- 次世代の通信機器や自動車などを支える高機能材料・デバイスの提供
- 環境負荷低減に貢献する製品の提供
- エレクトロニクス技術の他分野への応用による新たな価値の創出
- 研究開発への積極的な投資によるユニークな技術創出
- ダイバーシティの推進による人財の育成
- 利益に応じた積極的な株主還元の実施（のれん償却前総還元性向 40%）

3 持続可能な社会の実現に貢献

5 ジェンダー平等の推進

7 エネルギーと気候変動

13 気候変動に具体的な対策を

4 質の高い教育をみんなに

6 安全な水とトイレを世界中に

8 豊かで持続可能な経済活動を促進

## ビジネスモデル

高度な技術力とお客さまとの対話によって、お客さまの重要な課題を見つけ、解決する製品を提供しています。  
結果として高い参入障壁と市場シェアを維持し、安定した収益性と継続的な新製品の開発を実現しています。

### ユニークな顧客アプローチ

ディスプレイメーカーや部品メーカーなど製造をおこなう「直接顧客」と、その先の最終製品メーカーである「最終顧客」の双方のお客さまへのアプローチが、デクセリアルズの製品開発を支えています。

#### デザイン・イン

最終顧客が開発する製品や新機能に対し、当社はお客さまが気付かない課題まで抽出します。そのうえで、当社はお客さまの課題を解決する新製品を提案します。最終顧客による評価を経て認定された当社製品は、最終製品製造時の指定部材として直接顧客に使用されることになります。  
当社は、こうした活動から最先端の技術トレンドを把握し、最終顧客のニーズをいち早く取り込み、数々の「選ばれる製品」を開発・提案しています。

#### スペック・イン

並行して、直接顧客に対しては、当社製品を用いた量産立ち上げの支援をおこないます。さらに、量産体制確立後も接着時間の短縮や、低温での接着のような、お客さまの生産性向上に資する改良品を提供するなど、直接顧客からも高い評価をいただいています。

### ニッチ市場で高シェアを維持する鍵

#### お客さまの課題や要望をひきだす「対話力」

お客さまとの対話では、営業だけではなくエンジニアも加わり、お客さまの課題や要望をひきだしたうえで、開発部門とともに技術的な考察を加えて真の課題を見つけ出します。当社は、この課題に対して今までなかったようなユニークで高い付加価値を持つ製品やソリューションを開発・提案することで、お客さまの期待を超える価値の提供を実現しています。

#### お客さまの期待に応える製品を開発する高度な「技術力」と「分析力」

お客さまの期待値を上回る製品開発の基礎となるのが、前身の時代より蓄積してきた4つのコア技術が生み出す総合的な開発力です。これらのコア技術を掛け合わせることで幅広い可能性が広がります。

##### 材料技術

当社は、光学材料や電子材料など、最先端の電子機器、自動車などに用いられる機能性材料を開発する材料技術を始め、有機系材料技術・無機系技術、薄膜形成技術や微細加工技術など、機能を形にする技術・ノウハウを多数有しています。

##### プロセス技術



##### 評価技術

当社の営業・開発・生産部門が一体となり、最新の設備や評価技術を用いて、お客さまのニーズを的確に把握し、速やかに課題の解決や製品の開発を実現しています。

##### 分析解析技術